



2025.02.18 建築・都市DXセミナー

遠隔医療を活用した「誰一人取り残さない」医療の実現

聞いて良かった

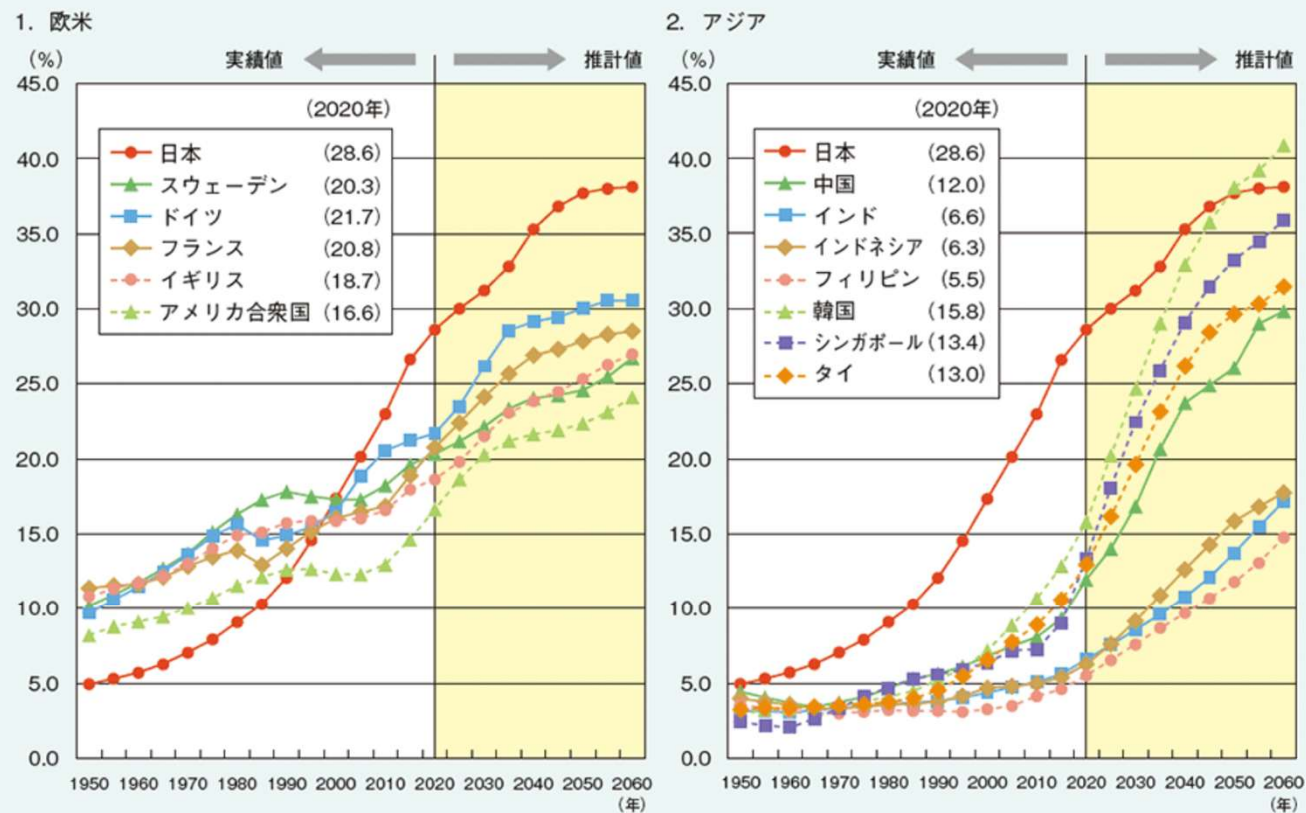


聞いて良かった



日本の最も大きな課題は？

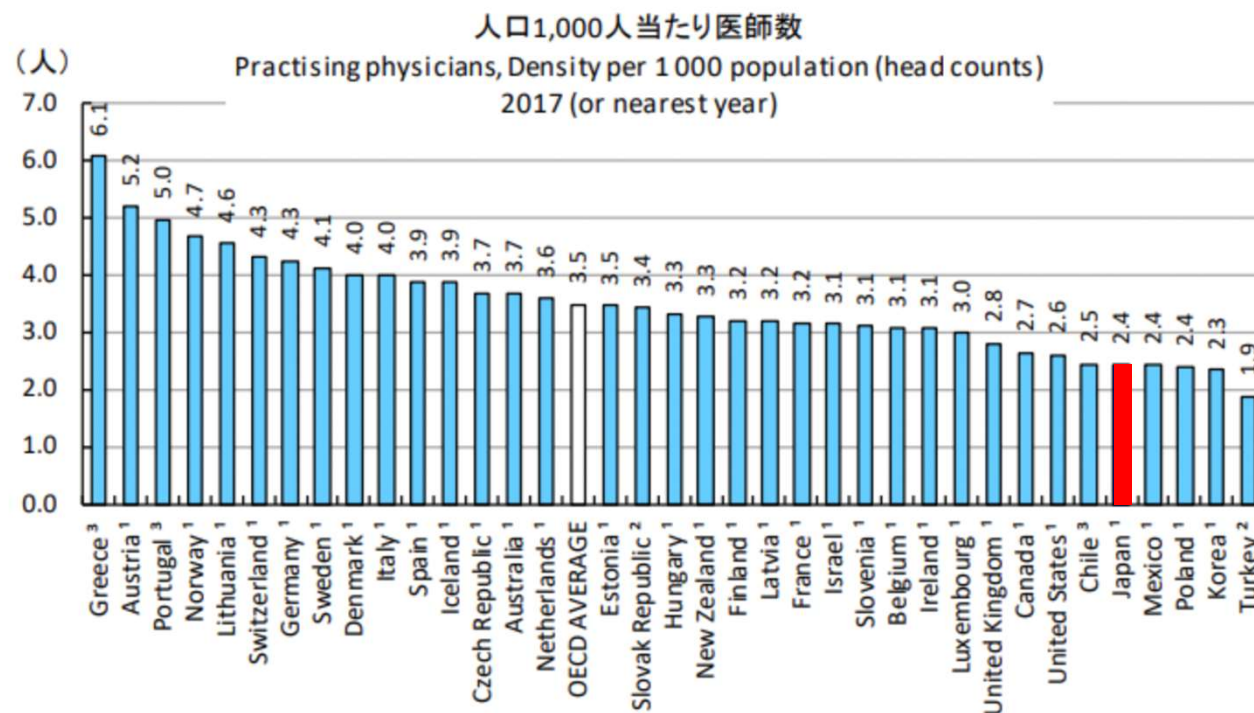
図1-1-6 世界の高齢化率の推移



資料：UN, World Population Prospects : The 2019 Revision

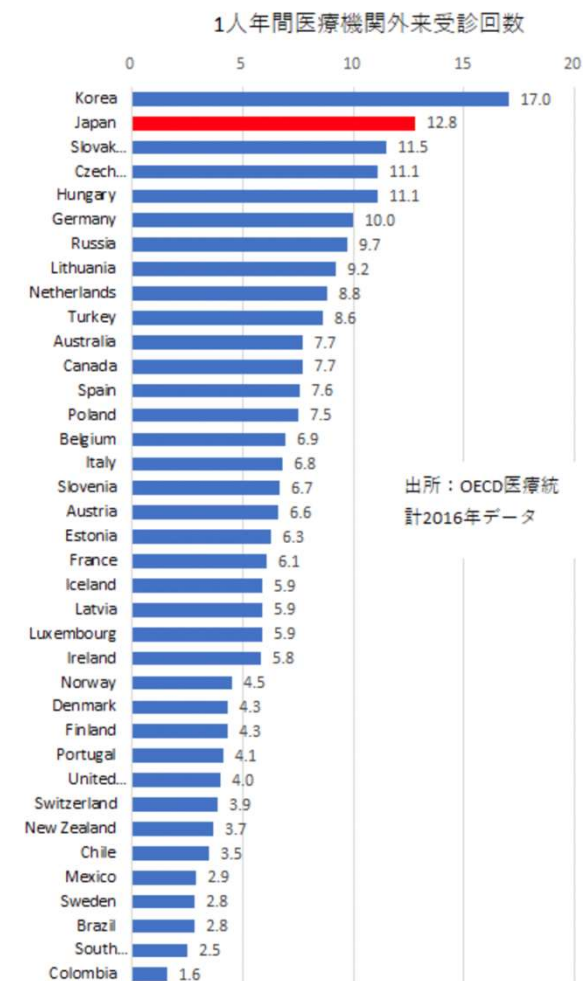
ただし日本は、2020年までは総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果による。

日本では医師が少ないにも関わらず、非常に多い受診回数

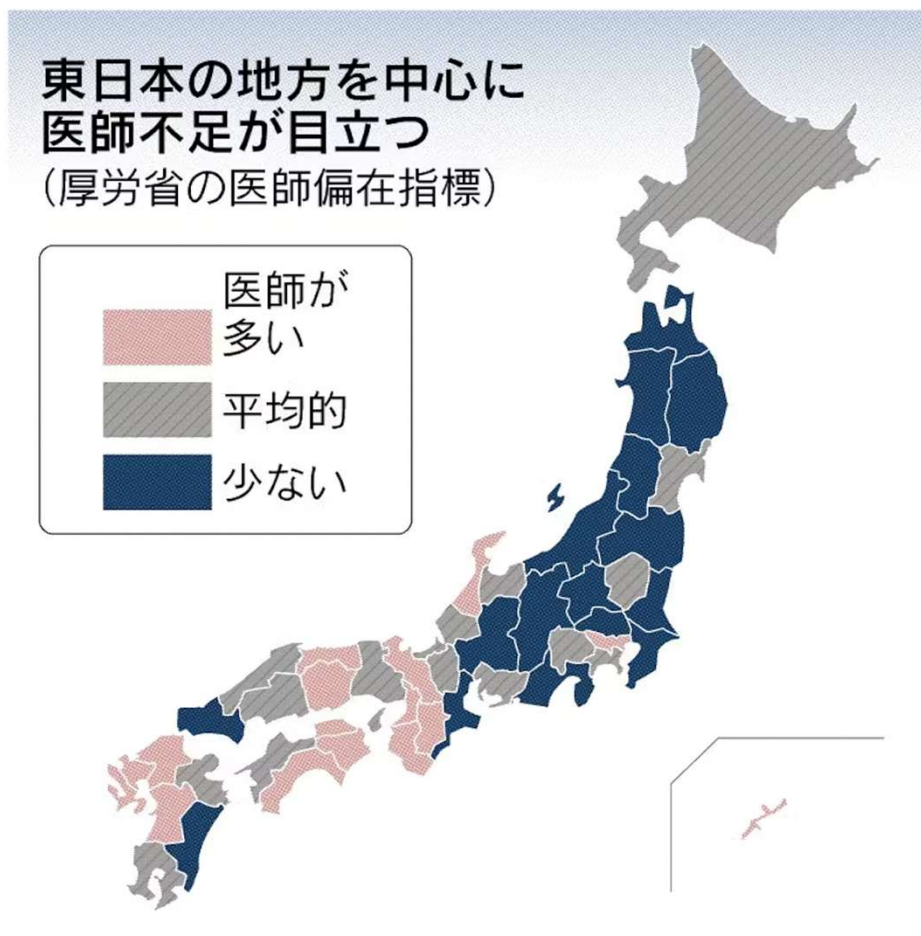


*"OECD Health Statistics 2019"から作成

1. Data refer to practising physicians. Practising physicians are defined as those providing care directly to patients.
2. Data refer to professionally active physicians. They include practising physicians plus other physicians working in the health sector as managers, educators, researchers, etc. (adding another 5-10% of doctors).
3. Data refer to all physicians who are licensed to practice.



医師の働く場所が自由なため西日本や都市部に偏在



都道府県別の人口10万人当たり医師数
(2020年)

1	徳島県 (338.4人)
2	京都府 (332.6人)
3	高知県 (322.0人)
4	東京都 (320.9人)
5	岡山県 (320.1人)
⋮	
43	千葉県 (205.8人)
44	福島県 (205.7人)
45	新潟県 (204.3人)
46	茨城県 (193.8人)
47	埼玉県 (177.8人)

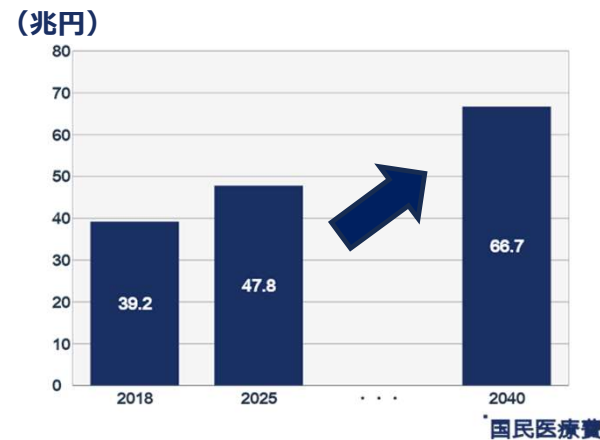
約2倍の格差あり

現在の日本の医療・福祉が抱える課題

医師の過重労働



高齢化・医療費増大



出典：内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省

少子化・不登校・自殺



医師不足 & 偏在 & 非効率性

解決困難な分野にこそデジタル & 遠隔医療の果たす役割がある

テクノロジーを活用し医師の能力を最大限拡張する

いつでも。どこでも。誰にでも。



患者の流れ

患者側

医師側

医療費&医師負担

オンラインテキストチャット（無料）

解決、市販薬

情報共有

診療前相談（有料）

解決、翌日受診

情報共有

オンライン診療（有料）

解決、処方箋

情報共有

昼間のかかりつけ医

救急外来



平日夜間・休日にアプリで気軽に相談



テキストチャット・診療前相談にて診療の適応を判断し実施



かかりつけ医の先生で安心



OTCを含めたアドバイスを行い不要不急の受診を抑制



遠隔地等の複数の医師が自宅等に待機し対応



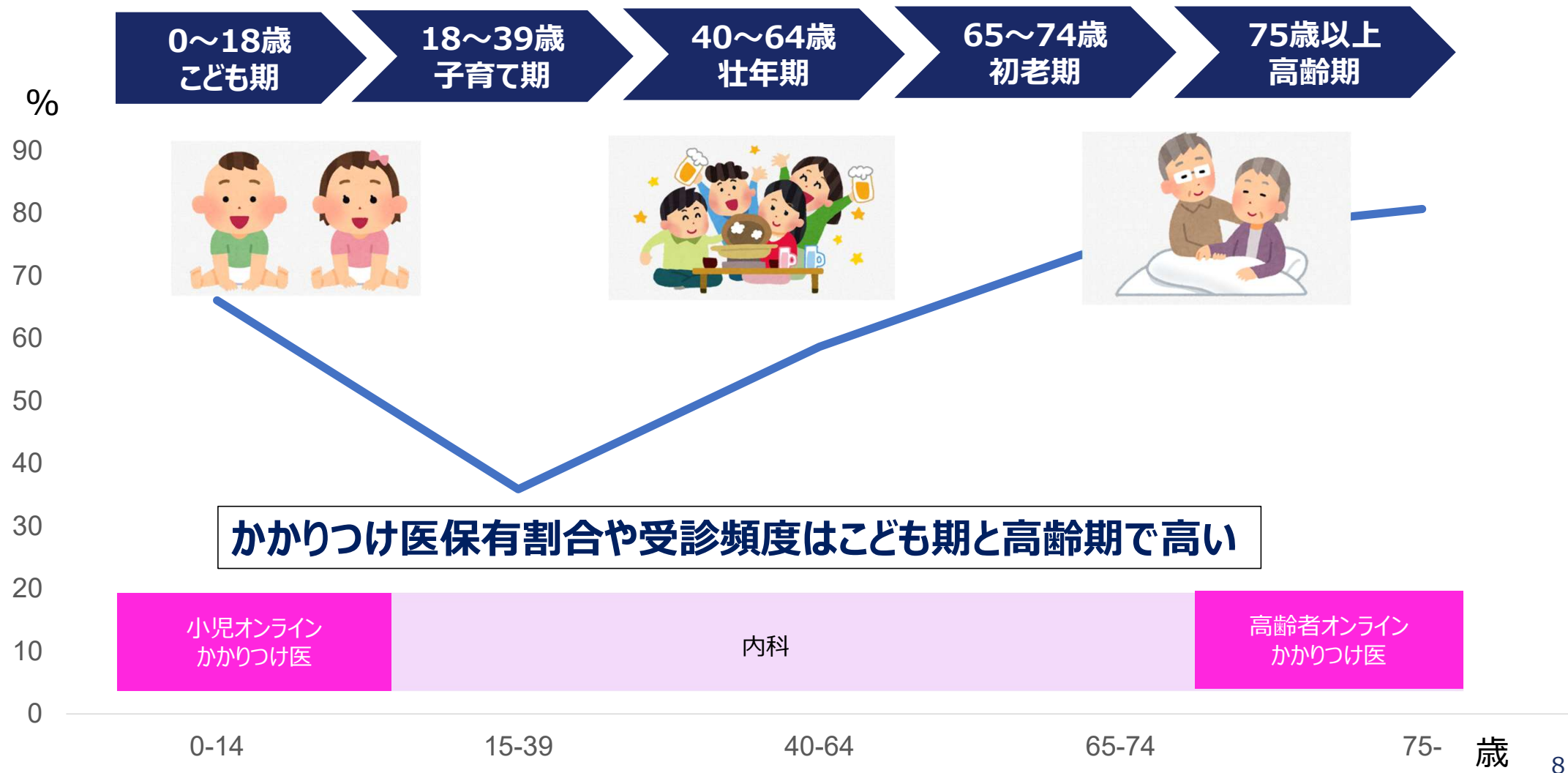
地域の医療資源の温存し、働き方改革にも寄与

小

中

大

開発は小児科分野よりスタートし、デジタル化の恩恵の受けづらい高齢者へ

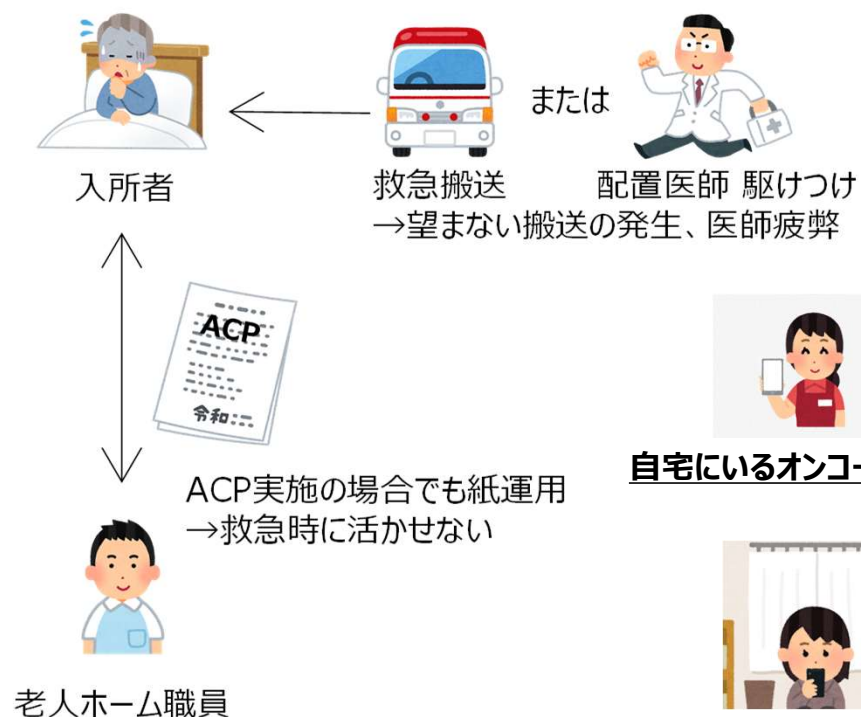


令和6年度内閣府調査事業（実施中）

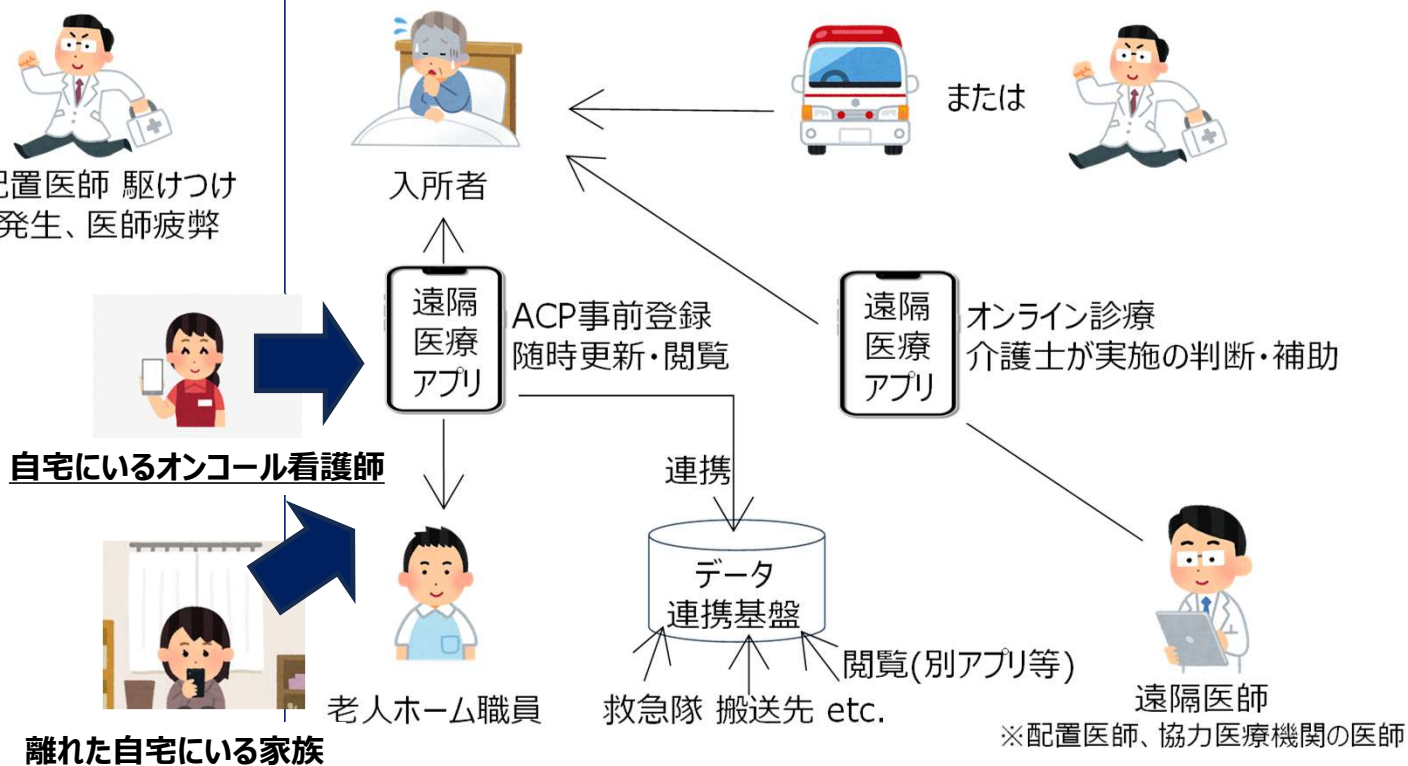
つくば市：特別養護老人ホームでのオンライン診療（2024.10～）



■ 夜間急変時の現状



■ 本調査事業では医療バックアップ体制を構築 遠隔医療アプリ／データ連携基盤 を活用



現在は内閣府からの支援を頂き、高齢者向けのサービス開発&実証試験



日本から「誰一人取り残さない」ヘルスケアシステムを世界に発信する。



「遠隔医療相談」で検索 No.1

